

シラバス参照

④ 科目名/Subject	多文化間コミュニケーション
④ 曜日・講時・教室/Day/Period/Place	後期 月曜日 5講時 川北キャンパスA205
④ 科目群/Categories	全学教育科目先進科目-国際教育
④ 単位数/Credit(s)	2
④ 対象学部/Object	全
④ 担当教員(所属) /Instructor (Position)	宿利 由希子 所属:高度教養教育・学生支援機構
④ 開講期/Term	2/4/6/8セメスター
④ 科目ナンバリング /Course Numbering	ZAC-GLB806J
④ 使用言語 /Language Used in Course	日本語
④ 備考 /Notes	

④ 授業題目 /Class Subject	【国際共修】操作する言語とメディア・リテラシー(日本語)						
④ 授業の目的と概要 /Object and Summary of Class	「女性宅周辺をみだりにうろついた」として男性が逮捕されたという報道を目にしたとき、私たちは彼がただ道に迷っていたのか、女性を待ち伏せしてうろろしていたのか、真実を知らないにもかかわらず、「みだりにうろつく」という表現から、この人物を犯罪者と認識することがある。本授業では、日本人学生と外国人留学生在が、このようなことばの「操作性」を材料に、日本語や日本文化について考え、協働作業を行う中で、他言語・他文化との共通点と相違点を学ぶ。 (外国人留学生対象日本語プログラムの授業との合同開講、授業は日本語で行う)						
④ 学修の到達目標 /Goal of Study	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語をはじめとする言語の操作性についての理解を深める。 ・日本人学生と留学生在が協力して、グループワークや発表を行う。 ・コミュニケーション能力を高める。 						
④ 授業内容・方法と進捗予定 /Contents and Progress Schedule of the Class	第1回 授業説明、信じやすい日本人 第2回 情報操作とメディア・リテラシー 第3回 日本語の操作性① 第4回 日本語の操作性② 第5回 日本語の操作性③ 第6回 日本語の操作性④ 第7回 グループワーク①宣伝文句を考える 第8回 グループワーク①続き 第9回 グループ発表①(1) 第10回 グループ発表①(2) 第11回 広く共通する言語の操作性 第12回 グループワーク②ニュースを考える 第13回 グループワーク②続き 第14回 グループ発表②(1) 第15回 グループ発表②(2) ※変更する可能性があります。						
④ 成績評価方法 /Evaluation Method	平常点(出席・クラス活動への参加等)30% 発表2回 50% 期末レポート 20%						
④ 教科書および参考書 /Textbook and References	No	書名	著者名	出版社	出版年	ISBN/ISSN	資料種別
	1.	『大学生のためのメディアリテラシートレーニング』	長谷川一・村田麻里子	三省堂	2015	978-4385365343	参考書
④ 関連URL /URL							
④ 授業時間外学修 /Preparation and Review	グループワーク(グループ発表の準備)の際、授業時間外もグループの仲間と一緒に勉強することになります。						
④ 実務・実践的授業							

/Practical business ※○は、実務・実践的授業であることを示す。 /Note: "○" Indicates the practical business	
授業へのパソコン持ち込み 【必要/不要】 /Students must bring their own computers to class [Yes / No]	不要 No
連絡先 (メールアドレス等) ※Emailは@の置き換えに注意 /Contact (Email, etc.)	yukiko.shukuri.a5@tohoku.ac.jp
その他 /In Addition	留学生と日本語母語話者学生の割合は、留学生1:日本語母語話者学生2を考えています。 留学生の人数に比べて日本語母語話者学生が多い場合は、くじ引きにより履修者を決定します。
更新日付 /Last Update	2022/03/10 14:56

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要な学修時間の目安は、「講義・演習」については15～30時間に授業および授業時間外学修(予習・復習など)30～15時間、「実験、実習及び実技」については30～45時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など)15～0時間です。

One-credit courses require 45 hours of study. In lecture and exercise-based classes, one credit consists of 15-30 hours of class time and 30-15 hours of preparation and review outside of class. In laboratory, practical skill classes, one credit consists of 30-45 hours of class time and 15-0 hours of preparation and review outside of class.